

下地調整塗材 シリーズ

- スズカプラサフ
- スズカプラサフエアレス用
- カチプラエアレス
- ラフトンカチオンSCフィラー
- ラフトンカチオンフィラー

プラサフシリーズ

プラサフシリーズは、当社が最初に開発しました、下地調整としてのフィラー機能と下塗りのシーラー機能を併せ持つ画期的な合成樹脂エマルション系下地調整塗材(下地調整塗材E)です。



特 長

1. 下地調整および下塗りの工程が一度にでき、直接上塗りが可能ですので、工程が短縮されます。
2. セメント系フィラーのような養生期間を必要とせず、しかも速乾性ですので、大幅に工期を短縮します。
3. 2材形の材料は、混練りのわずらわしさがありますが、1材既調合形ですので、施工性に優れます。
4. 有機系ですのでアルカリ、エフロレッセンス発生の心配はありません。
常に安定した目止め、吸い込み止め効果を発揮し、巾広い下地適性・上塗り適性があります。
5. ブラシ塗り、ローラー塗り、エアレス塗りなど、施工方法が選択できます。

スズカプラサフ

JIS A 6916

建築用下地調整塗材
(合成樹脂エマルション系下地調整塗材)

スズカプラサフは、下地調整のフィラー機能と下塗りのシーラー機能を併せ持つ、下地調整塗材です。工程・工期の短縮ができ、既調合タイプのため、混練りの必要がなく、また速乾性ですので、施工能率が大幅に向上します。

用 途

ALCパネル・コンクリート・モルタル・P C部材・ブロックなどの下地調整

性 能

試験項目	試験成績	規 格
低温安定性	合格	塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れがないこと
付着強さ N/mm ²	標準養生	2.0
	浸 水 後	1.5
吸水量 g	0.2	2.0以下
仕上材が 複層仕上塗材の 場合の耐久性	表面状態	合格
	付着強さ N/mm ²	1.1
		割れ、膨れ及び剥がれがなく、 付着強さは0.5以上とする。

試験方法はJIS A 6916建築用下地調整塗材(下地調整塗材E)による

標準施工仕様

施工方法と希釈率

施工方法	吹付け	ローラー塗り	ブラシ塗り
塗装用具	万能ガン(リシン口) 口径: 3~5mm 吹付圧力: 0.3~0.5MPa	中毛ローラー	左官ブラシ
希釈率(%)	清 水 8~15	清 水 5~10	清 水 5~10

工 程	塗 材	調 合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
下地処理	下地面のレイトランス、エフロレッセンス、突起物、汚れなどは、ワイヤブラシ、サンダーなどで除去し、十分に乾燥させてください。					
下地調整塗り	スズカプラサフ 清 水	100 5~15	0.6~1.0	1	3時間以上	吹付け、ローラー塗り ブラシ塗り

注意事項

施工上及び取扱い上の注意事項をご参照ください。

荷 姿

スズカプラサフ.....20kg

スズカプラサフエアレス用

JIS A 6916

建築用下地調整塗材
(合成樹脂エマルジョン系下地調整塗材)

スズカプラサフエアレス用は、プラサフの性能を保持し、汎用エアレス塗装機での施工を可能にした、下地調整塗材です。作業能率がぐーんとアップします。ローラー塗り、ブラシ塗りもできます。

用 途

ALCパネル・コンクリート・モルタル・P C部材・ブロックなどの下地調整

性 能

試験項目		試験成績	規 格
低温安定性		合格	塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		合格	ひび割れがないこと
付着強さ N/mm ²	標準養生	2.1	0.7以上
	浸 水 後	1.5	0.5以上
吸水量 g		0.2	2.0以下
仕上材が 複層仕上塗材の 場合の耐久性	表面状態	合格	割れ、膨れ及び剥がれがなく、 付着強さは0.5以上とする。
	付着強さ N/mm ²	1.0	

試験方法はJIS A 6916建築用下地調整塗材(下地調整塗材E)による

標準施工仕様

施工方法と希釈率

施工方法	エアレス塗り	吹付け	ローラー塗り	ブラシ塗り
塗装用具	エアレス (下記参照)	万能ガン(リシン口) 口径：3～5mm 吹付圧力：0.3～0.5MPa	中毛ローラー	左官ブラシ
希釈率(%)	清 水 10	清 水 10	清 水 0～2	清 水 0～2

工 程	塗 材	調 合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
下地処理	下地面のレイタンス、エフロレッセンス、突起物、汚れなどは、ワイヤブラシ、サンダーなどで除去し、十分に乾燥させてください。					
下地調整塗り	スズカプラサフエアレス用 清 水	100 0～10	0.6～0.8	1	3時間以上	エアレス塗り、吹付け ローラー塗り、ブラシ塗り

適性エアレス塗装機

機 種	エアレス塗装後 圧力：18MPa、吐出量：4L/min、能力：1馬力以上
口 径 (チップ)	フリーパターンタイプ ●フリーパターンノズル 028・041 (旭サナック株式会社) ●フリーパターンチップ FPT028・041 (アネスト岩田株式会社) ●タイタンチップ B・C (日本ワーグナー・スプレーテック株式会社)
	スタンダードタイプ ●リバーサクリーンタイプ 口径 (0.019～0.021インチ)

サクシオン側のフィルターは取りはずしてください。

現場の状況によりゴミなどの混入の恐れがある場合は、40～50メッシュのフィルターを取り付けてください。

注意事項

施工上及び取扱い上の注意事項をご参照ください。

荷 姿

スズカプラサフエアレス用……………20kg

カチプラエアレス

カチプラエアレスは、カチオン系アクリル樹脂エマルジョンを用いた下地調整塗材です。カチオンですので、付着性が抜群です。コンクリート、ALCを始め、セメント瓦、スレート瓦などの素材によく密着します。

用 途 ALCパネル・コンクリート・モルタル・P C部材・セメント瓦・スレート瓦 などの下地調整

性 能

試験項目		試験成績	規 格
低温安定性		合格	塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		合格	ひび割れがないこと
付着強さ N/mm ²	標準養生	2.0	0.7以上
	浸 水 後	2.1	0.5以上
吸水量 g		0.2	2.0以下
仕上材が 複層仕上塗材の 場合の耐久性	表面状態	合格	割れ、膨れ及び剥がれがなく、 付着強さは0.5以上とする。
	付着強さ N/mm ²	1.1	

試験方法はJIS A 6916建築用下地調整塗材(下地調整塗材E)による

標準施工仕様

施工方法と希釈率

施工方法	エアレス塗り	吹付け	ローラー塗り	ブラシ塗り
塗装用具	エアレス (下記参照)	万能ガン(リシン口) 口径：3～5mm 吹付圧力：0.3～0.5MPa	中毛ローラー	左官ブラシ
希釈率(%)	清 水 5～10	清 水 5～10	清 水 0～5	清 水 0～5

工 程	塗 材	調 合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
下地処理	下地面のレイタンス、エフロレッセンス、突起物、汚れなどは、ワイヤブラシ、サンダーなどで除去し、十分に乾燥させてください。					
下地調整塗り	カチプラエアレス 清 水	100 0～10	0.2～1.0	1	3時間以上	エアレス塗り、吹付け ローラー塗り、ブラシ塗り

カチプラエアレスは、カチオン系材料ですので、一般の水性塗料に用いた塗装用具を共用されますと固まることがありますので、避けてください。

適性エアレス塗装機

機 種	エアレス塗装後 圧力：18MPa、吐出量：4L/min、能力：1馬力以上
□ 径 (チップ)	フリーパターンタイプ ●フリーパターンノズル 028・041 (旭サナック㈱) ●フリーパターンチップFPT028・041 (アネスト岩田㈱) ●タイタンチップB・C (日本ワグナー・スプレーテック㈱)
	スタンダードタイプ □径 (0.021～0.031インチ) ●リバーサクリーンタイプ

サクション側のフィルターは取りはずしてください。
現場の状況によりゴミなどの混入の恐れがある場合は、40～50メッシュのフィルターを取り付けてください。

注意事項

施工上及び取扱い上の注意事項をご参照ください。

荷 姿

カチプラエアレス 白、グレー……………20kg



白



グレー
(日塗工N-60近似)

※印刷色見本のため、実際の色調・つや等と多少異なります。

ラフトンカチオンSCファイラー

JIS A 6916

建築用下地調整塗材
(セメント系下地調整塗材1種・2種)

ラフトンカチオンSCファイラーは、特殊カチオン粉末樹脂を用いた密着性に優れた下地調整塗材です。作業性に優れ、厚付けできるJIS A 6916建築用下地調整塗材・セメント系下地調整塗材1種・2種（下地調整塗材C-1・C-2）適合品です。

特 長

1. JIS A 6916下地調整塗材C-1・C-2適合品です。
2. 作業性に優れています。
3. カチオン系粉末樹脂を使用しているため、新設下地（コンクリート・モルタル）だけでなく、磁器タイル面にも使用可能です。既存塗膜への密着性に優れ、塗替えの下地調整にも使用可能です。
4. 耐ひび割れ性、耐衝撃性に優れています。
5. 一粉形の製品で、水練りだけで使用できるため、取扱いが簡単です。
6. 一粉形の製品であるため、混和液の容器などの廃材もなく、経済的且つ環境負荷も軽減できます。

用 途

- 打放しコンクリート・モルタル・PC部材の不陸・段差・巣穴・ひび割れの補修、下地調整
- 打放しコンクリート・PC部材・ALCパネル・コンクリートブロック面の全面地付け、吸い込み止め
- 磁器タイル改装の下地調整

性 能

試験項目	試験結果	規格（JIS A 6916）	
		0.5～1mm厚	下地調整塗材C-1
軟度変化 %	-2.0	-20～20	
耐ひび割れ性	合格	ひび割れがない。	
耐衝撃性	合格	ひび割れ及び剥がれがない。	
付着強さ N/mm ²	標準養生	2.4	0.7以上
	低温養生	2.1	0.5以上
吸水量 g	0.5	2.0以下	
仕上材が 複層仕上塗材の 場合の耐久性	表面状態	合格	割れ、膨れ及び剥がれがなく、 付着強さは0.7以上とする。 ただし、仕上塗材だけで破断 した場合は0.5以上とする。
	付着強さ N/mm ²	1.3	

試験項目	試験結果	規格（JIS A 6916）	
		1～3mm厚	下地調整塗材C-2
軟度変化 %	8.1	-20～20	
耐ひび割れ性	合格	ひび割れがない。	
耐衝撃性	合格	ひび割れ及び剥がれがない。	
付着強さ N/mm ²	標準養生	2.3	1.0以上
	低温養生	1.5	0.7以上
吸水量 g	0.4	1.0以下	
仕上材が 複層仕上塗材の 場合の耐久性	表面状態	合格	割れ、膨れ及び剥がれがなく、 付着強さは1.0以上とする。 ただし、仕上塗材だけで破断 した場合は0.7以上とする。
	付着強さ N/mm ²	1.7	

標準施工仕様

混ぜ合わせ

塗 材	こて塗り	ブラシ・ローラー塗り	吹付け
ラフトンカチオンSCファイラー	20kg	20kg	20kg
清 水	4.0～4.5kg(L)	5.0～6.0kg(L)	6.0～7.0kg(L)

- 練り容器に清水を入れ、ハンドミキサーで攪拌しながら粉体（20kg）を徐々に加えてください。
- 空気の巻き込みや、ママコが出来ないように十分練り合わせてください。
- 施工方法に合わせ、必要な清水を加え粘度を調整してください。

施工要領

工 程		施工方法							
下地処理		● 施工前の下地処理に準じてください。 ● 磁器タイル面につやがある場合は、サンダーなどで目荒ししてください。							
下 地 調 整	施 工	こて塗り				ブラシ・ローラー塗り		吹付け	
		左官用こて・パテベラ				左官用ブラシ・セメント刷毛・ ナイロン刷毛・ウールローラー中毛		万能ガン、口径：3～5mm（リシン口） 吹付圧力：0.5～0.6MPa	
	JIS A 6916の種類	C-1		C-2		C-1		C-1	
	厚 み	0.5mm	1mm	2mm	3mm	0.5mm	1mm	0.5mm	1mm
	1袋当り	28～29㎡	14～15㎡	7～8㎡	4～5㎡	28～29㎡	14～15㎡	28～29㎡	14～15㎡
所要量 (混練水込み)		0.7kg/㎡ (約0.8kg/㎡)	1.4kg/㎡ (約1.7kg/㎡)	2.7kg/㎡ (約3.3kg/㎡)	4.1kg/㎡ (約5.0kg/㎡)	0.7kg/㎡ (約0.9kg/㎡)	1.4kg/㎡ (約1.8kg/㎡)	0.7kg/㎡ (約0.9kg/㎡)	1.4kg/㎡ (約1.8kg/㎡)
養生期間		16時間以上(23℃)放置後、仕上塗材を施工してください。							

- 混合した材料は1時間以内(23℃)にご使用ください。
- 巣穴の多い下地への吹付けは、吹付け後ブラシですり込むように塗り付けてください。

吹付圧力の単位1MPa=9.8kgf/cm²

注意事項

- 施工上及び取扱い上の注意事項をご参照ください。
- 吸い込みの著しいALCパネル下地などの場合は、あらかじめ水系シーラーを塗装するかまたは水湿しをして、吸い込みを緩和させてから施工してください。
- 本品はカチオン系ですので、アニオン系の材料とは絶対に混合しないでください。

荷 姿

- ラフトンカチオンSCファイラー
…20kg（クラフト紙袋入り）

ラフトンカチオンファイラー

JIS A 6916

建築用下地調整塗材
(セメント系下地調整塗材1種)

ラフトンカチオンファイラーは、特殊カチオン系エマルジョンを混和液に用いた、接着強度に優れる下地調整塗材です。これまで密着性に難があった磁器タイル面や既存塗膜面、またセメント瓦・スレート屋根の塗替の下地調整に最適な塗材です。また、ラフトンカチオンファイラーは、JIS A 6916建築用下地調整塗材・セメント系下地調整塗材1種（下地調整塗材C-1）適合品です。

特 長

1. 各種下地(磁器タイルなど)との密着性に優れています。
2. 耐ひび割れ性、耐衝撃性に優れています。
3. 速硬化のため工期の短縮、作業能率アップになります。
4. ぜい弱な下地を均一に強化し、仕上材の耐久性、防水性を向上させます。
5. 保水性がよく、薄塗りでもドライアウトしません。
6. 新築、改装と幅広く使用でき、こて塗り、ブラシ塗り、吹付けが自由に使い分けできます。

用 途

- 磁器タイル改装の下地調整
- セメント瓦・スレート瓦・スレート屋根改装の下地調整
- 打放しコンクリート・モルタル・PC部材・ALCパネル面の全面地付け、吸い込み止め
- 打放しコンクリート・PC部材の不陸・段差・巣穴の補修
- 改装下地の補修、下地ごしらえ

性 能

試験項目		試験結果	規格 (JIS A 6916)
軟度変化 %		8.5	-20~20
耐ひび割れ性		合格	ひび割れがない。
耐衝撃性		合格	ひび割れ及び剥がれがない。
付着強さ N/mm ²	標準養生	1.3	0.7以上
	低温養生	1.3	0.5以上
吸水量 g		0.5	2.0以下
仕上材が 複層仕上塗材の 場合の耐久性	表面状態	合格	割れ、膨れ及び剥がれがなく、付着強さは0.7以上とする。ただし、仕上塗材だけで破断した場合は0.5以上とする。
	付着強さ N/mm ²	1.3	

標準施工仕様

混ぜ合わせ

塗 材	こて塗り	ブラシ塗り	吹付け
ラフトンカチオンファイラー			
粉 体	20kg	20kg	20kg
混和液	10kg	10kg	10kg
清 水	——	4~6kg (L)	4~6kg (L)

施工要領

工 程		施工方法		
下地処理		● 施工前の下地処理に準じてください。 ● 磁器タイル面につやがある場合は、サンダーなどで目荒ししてください。		
下地調整	施 工	こて塗り	ブラシ塗り	吹付け
		左官用こて パテベラ	左官用ブラシ セメント刷毛 ナイロン刷毛	万能ガン 口径：3~5mm (リシン口) 吹付圧力0.35~0.45MPa
	標準所要量 (セット当り) (厚み)	0.8~1.7kg/m ² (17~37m ²) (約0.5~1.0mm)	0.7~1.0kg/m ² (30~42m ²) (約0.4~0.5mm)	0.7~1.0kg/m ² (30~42m ²) (約0.4~0.5mm)
養生期間		24時間以上 (23℃) 放置後、仕上塗材を施工してください。		

吹付圧力の単位1MPa=9.8kgf/cm²

- 混合した材料は夏期1時間以内、冬期1.5時間以内にご使用ください。
- 巣穴の多い下地への吹付けは、吹付け後ブラシですり込むように塗り付けてください。

注意事項

- 施工上及び取扱い上の注意事項をご参照ください。
- 化粧スレート瓦が下地の場合は、水洗いなどの下地処理を入念に施してください。
- 本品はカチオン系ですので、アニオン系の材料とは絶対に混合しないでください。

荷 姿

- ラフトンカチオンファイラー粉体
……20kg (クラフト紙袋入り)
- ラフトンカチオンファイラー混和液
……10kg (石油缶入り)

施工上の注意事項

プラサフシリーズ

- 使用前に塗料をよくかくはんしてください。
- 塗料が乾くまでに、降雨・降雪・結露が懸念される場合、屋根の表面温度が 50℃ 以上の場合、外気温が 5℃ 以下、湿度が 85% 以上の場合は施工を避けてください。
- 低温または高湿度などの気象条件下では、塗膜の乾燥が遅れるため、降雨の影響を受けない施工計画をたててください。
- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率 10% 以下、pH10 以下) 未乾燥で塗装しますと、つや引け・ふくれ・はがれ・割れなどの原因になりますのでご注意ください。
- 下地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、あらかじめ樹脂モルタルまたはラフトンカチオン SC フィラーで補修、平滑にしてください。
- 下地のレイトンス、エフロレッセンス、未硬化セメント粉、土砂、ゴミ、ホコリ、油脂類、離型剤は、ブラシがけ、サンダーがけ、高圧水洗機による水洗い、シンナーの拭き取りなどで完全に除去してください。
- 塗り替えの場合は、旧塗膜をよく調査して、状況に応じたケレン、高圧水洗などにより、下地を整えてから、プラサフシリーズを施工してください。
- 他の塗料や所定以外の希釈剤の混合は避けてください。
- 塗付量が少ないと十分な塗膜性能が得られませんので、所定の塗付量を施工してください。
- 各工程の間隔時間は所定の時間を守ってください。また、山間部などで夜露が早く降りるちいさきでは、施工を早めに終え、乾燥時間を確保してください。
- カチプラエアレスを屋根に施工した場合、施工面を歩行する時は、塗膜が乾いていることを必ず確認してください。
- 既存塗膜の種類や劣化状態によっては、溶剤などの影響で既存塗膜を侵し、ちぢみや再溶解を生じることがありますので、試し塗りで確認後、本塗装に入ってください。また、既存塗膜の劣化が著しい場合は、ガムテープによるテーピングで付着性を試験してください。
- 上塗りに溶剤系塗料を使用する場合、開口部などから溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどをしてください。
- 洗浄機などによる水洗い時の屋根は、滑りやすいので足元にご注意ください。
- 水系塗料の場合、塗膜乾燥初期の降雨により、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所での泡の発生、COD 値上昇の可能性があります。雨水が河川に流入するおそれがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
- シーリング面に施工する場合は、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリングの場合は 2 回塗りしてください。) 尚、シリコーンシーリングの場合は、施工を避けてください。
- 製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。特に、引火及び有害の危険性がある製品は、十分に注意し、安全対策を行ってください。

■エアレス塗装機使用上の注意

- エアレス塗りの場合は、特に塗装ミストの飛散には留意してください。汚染・臭いのトラブルが出ないように十分な養生を行い、また風向きなどを考慮して、施工してください。
- エアレス塗装機および付属品は、使用前に清水で十分に清掃してください。(少しでも溶剤や異種塗料が残っていると、つまり・吸い込み付量などの原因になります。)
- オートマゼールなどによる攪拌時、できるだけエアを巻き込まないように注意してください。(圧力低下を生じます。)
- 施工中に霧化不良・吐出不良などを生じた場合は、チップ・フィルターを清掃してください。
- 施工後エアレス塗装機および付属品は、清水で十分に清掃してください。

フィラーシリーズ

- 下地表面のはこり・土砂・油汚れは、除去・清掃してください。
- 下地の突起物・レイトンス・離型剤などは、ワイヤーブラシ・サンダーで取り除いてください。
- 改装の場合は、ぜい弱部分・劣化旧塗膜をケレン除去し、水洗いをしてください。
- 2 材形の製品は、粉体と混和液を必ずセットでご使用ください。
- 他の充てん材、添加剤、樹脂液などの混入は、性能低下の原因になりますので避けてください。
- 気温が高く下地が極端に乾燥している場合や、吸水性が異常に大きい下地の場合などは、あらかじめ適度の水湿しをしてから施工してください。
- 気温が 3℃ 以下の場合は、施工を避けてください。
- 施工直後に降雨が予想される場合、冬期で白華の発生が懸念される場合、塗り付け後早期乾燥が予想される場合などは施工を中止するか、シート掛け、板おおいなどの処理をしてください。
- 各材料の養生期間は十分に取、次の工程に移ってください。
- シーリング材や防水材の面には、完全に付着せず、ひび割れなどを生じることがありますので、使用する前に最寄りの事業所にお問い合わせください。

取扱い上の注意事項

- 取扱中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。特にフィラーシリーズはセメントを含んでいるため、目に入ったり、ぬれた皮膚に接触するとアルカリ性により軽い炎症を起こすことがありますので、取扱いには十分注意してください。【防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど】
- フィラーシリーズ粉体の取り扱い時、粉じんを吸入しないよう風上から作業してください。また多量に取り扱う場合は集塵機を設置するなど環境への流出を防止してください。
- フィラーシリーズ粉体が漏出したときには、保護具を着用し、ほうき・スコップあるいは吸引装置を使用して処置してください。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密封し、40℃ 以下で子供の手の届かない一定の場所を定め保管してください。またフィラーシリーズ粉体は水硬性ですので直接地面に放置しないでください。特に下記場所の保管は避けてください。【雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など】
- 袋物の取扱い時、荷崩れのないように、また衝撃を加える、引きずるなどの行為をしないでください。
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。

水濡れ厳禁



スズカファイン株式会社

営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

59

22/01

URL <https://www.suzukafine.co.jp/>



- このカタログに記載以外の素地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

22/01